



6
2015
June

6月10日発行
第5巻 第12号 通巻55号

Bulletin



CHARTERED 2010

◆今月の聖句 コリントの信徒への手紙1 第16章13節14節
目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。

- クラブ会長主題 : 和の心を持って!!クラブ会長: 河村栄二
- 国際会長主題 : "Talk Less, Do More" "言葉より行動を"
- 国際会長 : アイザック パラシンカル (インド)
- アジアエリア会長主題 : "Start Future Now" "未来を始めよう、今すぐに" アジア会長: 岡野 泰和
- 西日本区会長主題 : 「響きあい、ともに歩む To Walk Together, echoing each other」 西日本区理事: 松本武彦 一心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆくー
- 京都部長主題 : 行雲流水~Be Y's men~京都部部长: 畑本 誠 (京都トウバー)



広報委員長として

山田維久仁

今月で、第5期ブリテン広報委員長としての1年が終わります。
この一年は、皆様には大変お世話になり、また、数多くの原稿をお願いしました。
一年間本当に有難うございました。

正直なところ、たった月1回のブリテンを定期的に発行するのが、如何に難しいことであるかを痛感致しました。

強調月間の記事をご協力頂いた、各主任様にもブリテンを送らせて頂けなかつたりと、皆様にはご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

毎月のように、我がクラブメンバーが、例会だけではなく、各事業に参加頂いてます。それを皆様にご報告出来るのがブリテンです。

一年を通して、Yサ・CS事業や各地方部会の開催など、今まで知らなかった(気に留めてなかった^^;)事業が多くありそこにZEROクラブがどのように関わったり、参加、協力していることを深く知ることが出来ました。

今まで、私自身、土日が仕事のサービス業の為、週末参加が難しい状況でした。

ただ、今年は少しは興味を持ち、時間調整し部分参加ではありましたが初めて参加させて頂く事業も多くなりました。

「百聞は一見にしかず・・・」実際に参加することで、非常に貴重な良い体験を多くさせて頂いたと思います。

ブリテン委員以外であればそこまでの積極性は生まれなかったような気がします。

毎年、このワイズメンズクラブでは、非常に良い体験をさせて頂いてます。来年も、出来る限り頑張りたいと思います。

一年間本当にありがとうございました。

本日はZEROクラブ始まって以来初の他クラブ訪問例会でした。

お邪魔したのは、京都TOPSクラブ、我がZEROクラブ13名のメンバーで、大先輩クラブの例会に参加させていただきました。

TOPSクラブの方々には、快くお迎えいただき、大変感謝しております。

参加させて頂いて感じた事は、とにかく勉強になる事ばかりでした。

その中でも一番実感したのは、やはりメンバー数が多ければ多いほど、より活気のある楽しい例会ができるのだという事でした。

我々ももっと楽しくもっと活気ある例会を開催していけるよう、メンバー増強に取り組んでいきたいと、強く思いました。

次期は、私が会長ということもあり、今日感じた事を活かしてよりよいクラブ作りをしていけるよう、頑張りたいと思います！

基調講演でお話を聞かせていただいたのは、京都学園大学の丸田博之教授でした。

テーマも、個人的にも興味のある日本の歴史について、学校では教えてくれないような歴史の裏側なんかもお聞きできて、大変楽しかったです。

私の先祖は、丹波で勢力を持っていた藤原氏の血縁である波多野氏（明智光秀に滅ぼされたいらしいですが。。）だと聞いた事があるので、今度機会があれば、先生に聞いてみたいと思います。

最後になりましたが、再度TOPSクラブの舞田会長をはじめ、メンバーの皆様には御礼を申し上げたいと思います。また、我がZEROクラブの例会にもお越しいただければ幸いです。

波多野 守一

第2例会

5月28日

第5期5月第二例会は、2015年5月28日(木)にホテル日航プリンセス京都において「次期三役アワー」と新メンバーの坂口祐司ワイズの「メンバースピーチ」をメインプログラムに開催されました。

次期三役アワーでは、波多野次期会長より活動の「三本柱」として『賞を獲る！人を増やす！IBC・DBC!』を話しネタの不足もあってか、再三再四 声を大にして呼びかけていました。また、クラブの理想像としては、楽しくて学べる『遊び心とお勉強』をコンセプトに人が集まる楽しいクラブを目指したいということでした。「三本柱」についてももう少し具体的に触れておきますと、CSで「日向大神宮環境維持保全PJ」を展開しイベント特別賞の獲得を目指す。メンバー増と既存メンバーのクオリティーUP、青年会員獲得とノンドロップ。区を跨いでのDBC、そしてIBCの今期中の締結をも目指す勢いの積極的展開。以上のような内容で、あれだけ繰り返し熱い思いを訴えると自身を含むメンバーの耳にタコができる程、十分に伝わったと思います。

メンバースピーチでは、坂口ワイズの29年足らずの経験値とは思えない波乱万丈で非常に中身の濃い人生のお話を聞き、半世紀を越える自分の人生の薄さに少々幻滅。また、利益を求めず人の為に積極的に行動できるワイズメンの考えと行動を体験したいとクラブに参加した目的意識(違う世界の体験)も明確に持っているところに非常に感心しました。個人的にはZEROの新型兵器として非常に頼もしく期待値「大」で、他クラブの「脅威」にもなって欲しいところです。

宮越 寛



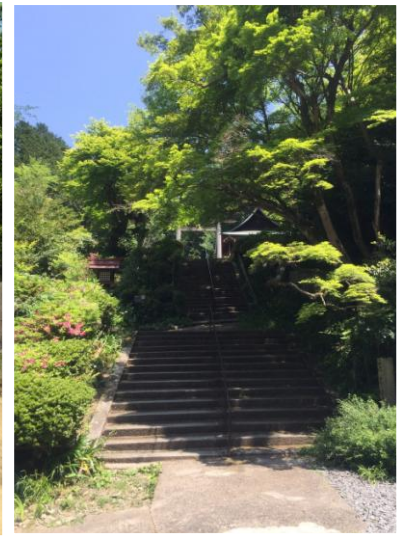
5月10日午前中にて、石飛、井上、河村会長、佐古田、高倉、竹園、西村、波多野次期会長の8人で見学をしてきました。

日向大神宮の紹介を簡単に説明させていただきますと、住所は京都市山科区日ノ岡一切経谷町29です。地下鉄東西線 蹴上(けあげ)駅下車(1番出口)徒歩15分です

なかなかたどり着くのは大変難しいのですが到着すると、そこには大変素晴らしい神社があります。百聞は一見に如かずで一度行ってみましょう。

宮司さんとお話をさせて頂きながらゼロクラブでどんな活動ができるかを模索してきました。今回日向大神宮という神社、地域で活動する中で大事にしている事、気を付ける点なども宮司様からもお話しして頂きました、西村次期CS委員長は大変楽しみにしながらまた、学びながら活動出来ると気合十分でした。

竹園憲二



チャリティーラン

5月17日

第11回京都YMCA かもがわチャリティーランが開催されました。この参加費や募金等が、YMCAが行う、障がいのある子供達のキャンプやプログラムに支援金として活用されます。

当日は快晴、少し走るには暑そうでしたが、事故もなく終わりました。我がZEROクラブからは、ランのスタッフを含め7名、あとゲストでお手伝いに来て下さった方2名の出席でした。出店は、唐揚げ&フライドポテト(¥300)でしたが、12:30頃には約130食完売。この組み合わせは、 Teppanですね。来期はもう少し量を増やして、せめて13:00頃までは開店していないと、チケットを買って頂いた方に申し訳ないですね。

他に、まかない兼、次回出店の商品の試作として、カレーパンを作りました、結構評判よかったですのですが、思ったより作るのがじゃまくさかったです。まあ手順を再考すれば、商品になるかなと思いましたが。

P.S. ゲストで手伝って頂いた、チョコちゃん・Hちゃん大変助かりました。有難う。

井上晴雄



エイブル倶楽部 5 周年記念例会

5 月 1 6 日

エイブルワイズメンズクラブ 25 周年記念例会が 2015 年 5 月 16 日(土)ホテルオークラにて開催されました。

エイブルクラブ 25 周年おめでとうございます。ゼロクラブからは河村会長をはじめ、佐古田ワイズ、田中ワイズ、西村ワイズ、竹園と 5 人参加してきました。さすがに 25 周年を迎えられるクラブとなりますと、他クラブの参加者も多く、大変にぎわいました。

お祝いの挨拶が終わったあとにミュージシャンの、ばんばひろふみさんがチャリティーで参加されたとのこと。いちご白書をもう一度やサチコと大変懐かしく優しい歌声でした。

2 部で石見神楽(大蛇の舞)を見せていただきました。

杉本弦さんと仲間達と紹介されました。

大蛇同士がいくつものが、からみあったりした凄く見ごたえのある舞でした。ワイズメンズクラブに入ってから自分以外にも、日本伝統芸能が好きなんだなと感じました。

周年記念例会を 10 年 20 年とゼロクラブも迎えていくのだと思いますが、思い出や活動実績などいろいろ積み重ねていきたいとエイブルクラブの記念例会を見ながら考えていました。エイブルクラブ 30 周年やゼロクラブの 10 周年など楽しみにしています。

竹園憲二

マーシャル英語勉強会

5 月 9 日

第 26 回アジア地域大会「マーシャル語学勉強会」に参加して

去る 5 月 9 日(土)、ハートンホテルで開催されたアジア地域大会向けの「マーシャル語学勉強会」に単身参加してきました。講師は、前者は東日本区理事の田中博之ワイズ(東京クラブ)、後者は翻訳・国際委員長の松村康弘ワイズ(京都めいぷる)が手弁当で当たって下さり、内容は英語(前半)と中国語(後半)で、いずれも初心者を対象としたごくごく簡単なレベルのものでしたが、英語はともかく中国語のほうはそれでもチンプンカンプン。特に発音習得は絶望的なレベルに終始してしまいました。もらった資料の「指さし会話集」に頼るしか方法はなさそうです。

個人的には、英語のほうはもう少しレベルを上げてもらいたかった、というところです。(参加者が 40 名を超えており、どのレベルに照準を合わせるのか難しいものがあります)

これはいつも思うことですが、インターナショナルな(国際的な)人というものは、決して語学が優れていることが必ずしも第一条件ではない、ということです。

大事なものは、おもてなし(hospitality)の気持ちと笑顔(smile)。これさえあれば外国人とはなんとかやっています。会話が出来なくても身振り手振りで何とかコミュニケーションを取ろうという気持ちが大事です。こういう人こそが、真の国際人だと断言できます。上手いかなければ、会話の出来る人を呼んでくれば良いのです。あとは笑顔で誤魔化す。これで充分です。

皆さんもアジア地区大会をインターナショナルな気持ちを持って、大いに楽しみましょう!

なお、当日に向けた英語と中国語の便利な資料をもらいましたので、後日配布します。

佐古田正美

びわこ長浜クラブ CS 例会

5 月 2 1 日

長浜ワイズメンズクラブ訪問

5 月 21 日、北ビワコホテルグラツィエにおいて、長浜クラブの地域奉仕アワー例会が開催され、メネット会計プリンスクラブの森さんと共に参加した。

というのも、この例会には、今期のメネット国内プロジェクトの支援先である東海大学佐藤ユニットの佐藤准教授が招かれ、「病と人生 希少難病研究を通して」と題して講演をされたからだ。佐藤先生は、ご自身が罹患された病とのかかわりから、身を持って、そうした病の苦しみのみならず、病から派生する社会的な苦しみ(孤独やいじめ)を経験され、今の希少難病研究に向かわれたという経緯をお話しになった。更に、7000 以上にも及ぶ希少難病研究に取り組む状況の難しさ、研究費の圧倒的な不足等の現状についてと、ご自身の現在の研究の進捗状況をお話しになった。大変な状況下で、先生が優しくひたむきに、患者に寄り添う立場で研究を進めていられるかが伝わる良いお話を伺うことが出来た。

長浜クラブでは、この例会を通じて、希少難病問題について知り、今後の地域奉仕事業として、先生の研究支援をしていければとの意向を示された。メネット事業主任という自身の立場から、大変嬉しく、今後の支援活動に期待したいと願うばかりだ。ZERO クラブにおいても、何らかの形で先生の研究支援をしていただければありがたいと願っている。ご一考を!

メネット事業主任 西村寛子

強調月間（評価・計画）



ワイズへの想い

2014-15 西日本区理事

松本 武彦（大阪西）

京都ZEROクラブの皆様、こんにちは。

ワイズメンズ運動において、YMCAや地域社会・国際社会への奉仕はその活動の大きな柱となっています。貴クラブにおけるこのような奉仕活動の代表的なものとして、YMCAリーダーを海外のリーダーとのワークショップ（グローバルコミュニティスタディ）に送り出す資金を集めるためのイベントの開催（YMCA奉仕活動）、そして、YMCAリーダーと一緒に小児病棟を訪問して入院中の子ども達を励ます夏祭りの開催（地域奉仕活動）があると聞いています。

ワイズメンズ運動は、YMCAや地域社会・国際社会へのこのような奉仕活動を通じて自己研鑽の機会と喜びを得ることに大きな意義があり、かつ、社会的必要性もあると考えます。私たちのワイズメンズ運動は、また、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをしていると思います。私たちのこのワイズメンズ運動は、次世代を担う人々をも励まし続ける貴重な活動であり、これを次世代につなげてゆかなければなりません。その意味で、ワイズメンズ組織の継続性が強く望まれます。

「いま、私は私にできることをする」— これは、南アメリカ大陸の先住民に伝わる物語の中でハチドリが述べたとされている言葉です。ワイズメンひとり一人がそれぞれの持つ力を発揮してワイズ活動に励む、これにワイズの仲間が響き合い、ともに歩むとき、1人の力が2人の力、いや、4人の力、8人の力となって、ワイズ活動の力が大きく増し広がってゆくとともに、このワイズメンズ運動の根幹をなすワイズスピリットを次世代につないでゆくことができます。そして、一人の力だけで十分ではなくても、その心意気に感動し、力を合わせることで、大きな力が生まれ、この大きな力を次世代に繋げてゆくことができる、と思います。

以下は貴クラブへの感謝の言葉です。今期、貴クラブから、メネット事業主任として西村寛子さんをお出し頂き、メネット国内事業として、希少難病と言う病を抱えて困っている患者さんの存在を知り、その病気克服のための研究活動を支援することのワイズの理解を進める上で、力強い活動を展開して頂きました。感謝しています。



HAPPY BIRTHDAY

6月 25日 坂口祐司



HAPPY ANNIVERSARY

6月 27日 宇佐美賢一 & 祐紀

5月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	12/23名	14/23名	
メネット	0名	0名	
コメント	0名	0名	
ゲスト	0名	0名	

月間出席者 19/23名
月間出席率 83%

TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

ニコニコ

5月	7,000円
累計	120,000円

ファンド

5月	0円
累計	236,001円

1. ネパール大地震緊急支援募金 受付期間中

また以下の期間中、ネパール大地震緊急支援募金を受け付けております。

皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。

受付期間： 5月7日(木)～6月30日(火)

募金方法： 京都YMCAの1F窓口にお届けいただくか、郵便振替でご送金ください。

〈郵便振替の場合〉 口座番号： 01050-7-19132

加入者名： 京都YMCA奉仕活動基金

※通信欄に「ネパール大地震」とお書きください。

2. 京都YMCAリトリートセンター ホテルのゆうべ

皆さまでバーベキューをしながら、リトリートセンターのホテルを觀賞して初夏の夕べを楽しみましょう。皆さまのご参加、お待ちしております。

日 時： 6月19日(金) 午後7時～9時30分

集合・解散： 京都YMCAリトリートセンター(宇治市ニ尾宇川18)

参加費： おとな(中学生以上) 2,000円/小学生 1,500円/幼児 無料

※参加費は当日、リトリートセンターにてお支払いください。

※当日は宿泊も可能です。(要事前予約)

定 員： 30名

お問合せ・お申込： 下記までお願いいたします。(申込締切：6月12日(金))

京都YMCAリトリートセンター事務局

(TEL) 075-231-4388 / (E-mail) ritcen@kyotoymca.org

3. 2015年度会員協議会

公益財団法人京都YMCA第4回会員協議会を開催いたします。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時： 6月26日(金) 午後7時～9時

場 所： 京都YMCA三条本館 地階マナホール

出欠連絡： (TEL) 075-231-4388 / (FAX) 075-251-0970

(E-mail) kyoto@ymcajapan.org

事前に出欠連絡を本部までいただけますと幸いです。

4. サマーキャンプ・夏期集中プログラム受付開始

京都YMCAでは、今年も夏休み中の子ども達のためのサマーキャンプとスイミング・体操の夏季集中プログラムを実施いたします。下記日程で、お申込みの受付を開始いたします。

●夏季集中プログラム

〈会員優先受付〉 (Web) 5月28日(木)～6月1日(月)

(電話) 6月3日(水) 午前10時～

〈一般受付〉 (Web) 6月4日(木)～7日(日)

(電話) 6月9日(火) 午前10時～

●サマーキャンプ

〈会員優先受付〉 (Web) 5月28日(木)～ / (電話) 6月3日(水) 午前10時～

〈一般受付〉 (Web) 6月4日(木)～ / (電話) 6月9日(火) 午前10時～

編集後記



大変発行が遅くなって申し訳ありませんでした。委員長、寄稿をいただいた皆さまにもご迷惑をお掛け致しました。暑い時期ですが体調にはご自愛ください。

宇佐美賢一

